

受賞おめでとうございます

東京都赤十字奉仕団功労表彰

永きにわたり、日赤奉仕活動にご尽力いただきましてありがとうございました。
受賞者は、次の方々です。

- | | | |
|------------|-------|-------|
| 【銀色有功章】 | 鈴木康紀 | 福田和子 |
| | 荒木テル | 竹内芳子 |
| 【金枠支部長感謝状】 | 金子泰士 | 田中和子 |
| 【銀枠支部長感謝状】 | 渡辺千壽子 | 白田フク |
| | | (敬称略) |

「ありがとう」の一枚の手紙

町会の役員をされている方から、編集委員がこんな話をうかがいました。

春日神社の祭礼の時、神輿のかつぎ手に近所の娘さんを誘ったところ、翌日、早速感謝の気持ちを伝える手紙が届いたそうです。

書面には、「手紙を書かせて頂いている今も、肩に神輿の小気味良い重たさと揺れが残っているようで、とても幸福感に満ちて居ります。

私が東京へ上京して二ヶ月程が経過したのですが、こんなに楽しく、有意義な一日は初めてです。

もし宜しければ、これからも皆さんとの行事等に参加させて頂きたいです。」とありました。

ちょっとした出会いのきっかけで地域のお祭りに参加して、思いもかけず楽しい一日を過ごす。そのウキウキした気持ちを素直に手紙に託す。

読む人の心もほのぼのとしてくような文面です。こんな世代をこえた交流が広がっていくこと、それがいま、いちばん大切な地域の和につながっていくのではないのでしょうか。

編集後記

2008年もあとわずか。今年も水害など、いろいろな災害が起こりましたが、この何年か、異常とも言える程、自然災害が増えているように思われます。今回の特集は、火災を始めとして、災害時に頼りとする消防機関の一つである消防団を取り上げました。

私たちの地元の方々に組織される消防団員の皆さんは、本来の仕事等を持ちながら、

いざとなれば消防活動をされるのはもちろん、日ごろから大変な訓練を積み重ねておられます。ボランティア精神がなければとてもできない仕事であると、改めて感謝します。

これからの季節、空気が一層乾燥してきます。皆さま十分に“火の用心”いたしましょう。

<齋藤編集委員>

身近な区民ギャラリーで地域文化の交流を

区民ギャラリーは、地域行政センターと特別出張所の一角に絵画・写真・書などを展示するブースを設けて作品を展示する事業です。

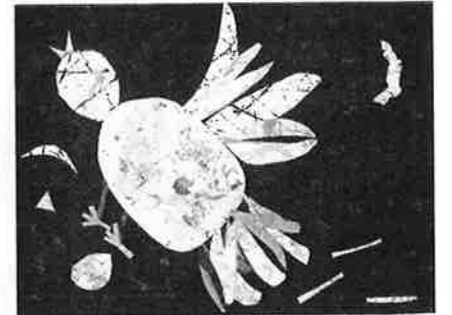
出張所は、地域のみなさまが作品を区民ギャラリーに展示することで、身近で親しみのある地域文化の交流の場になればと、展示作品を受け付けています。お申込みは、展示する前月の10日から受け付けます。詳しくは、新井宿特別出張所へお問い合わせください。



- 発行 わがまち大田新井宿地区推進委員会
編集 「わがまち新井宿」編集委員会
- | | | |
|------------|--------|--------|
| 山王三・四丁目自治会 | 編集委員長 | 高橋 紗英子 |
| 山王三丁目町会 | 副編集委員長 | 延島 武男 |
| 山王三丁目東自治会 | 編集委員 | 荒木 秀樹 |
| 山王三・四丁目自治会 | 編集委員 | 大瀧 真理子 |
| 中央一丁目町会 | 編集委員 | 齋藤 蓉子 |
| 中央四丁目町会 | 編集委員 | 若生 一順 |
| 新井宿五丁目町会 | 編集委員 | 谷口 敏子 |
| 新井宿六丁目町会 | 編集委員 | 河原 神風代 |
| 新井宿七丁目町会 | 編集委員 | 石田 小夜子 |
- ……共同編集……

監修 新井宿地区自治会連合会
事務局 大田区新井宿特別出張所
大田区中央4-31-14 ☎3776-5391
<http://www.city.ota.tokyo.jp/kita/index.html>

わがまち Araijuku 新井宿



「きれいななき声がひびく鳥」
山王小4年 朝倉千嘉子さんの作品

新井宿地区 総合防災訓練

10月19日、大森第三中学校の校庭で、新井宿8自治会・町会の合同参加で、初めての総合的な防災訓練が行われました。自治会・町会、警察署、消防署、消防団、市民消防隊、地域住民、大田区職員等、総勢およそ500人が参加しました。

災害発生時の心がまえ、いかに災害を最少限にするか、日ごろからの防災意識を再確認するためにも、貴重な訓練になりました。

防災訓練に参加して、災害発生時の危機感をより身近に体感することが、地域の防災力を高める第一歩となります。



松原大田区長

訓練内容

- | | |
|----------------------------|--------------|
| ○煙体験 | ○仮設トイレ組立 |
| ○応急救護訓練 | ○倒壊ハウス救出救護訓練 |
| ○起震車体験 | ○一斉放水訓練 |
| ○特設公衆電話体験
(災害時伝言ダイヤル体験) | ○乳幼児救急蘇生講習 |

大田区長からのメッセージ

地域の底力を発揮して、被害を最少限に食い止めるには、わが身を守るとともに、近隣との連携を図ることが重要とお話をいただきました。



特設公衆電話体験



倒壊ハウス救出救護訓練



仮設トイレ組立



一斉放水訓練



特集 消防団

自分たちのまちは、自分たちで守る!!



消防団って何？

消防署と同じ消防機関

消防団は消防署と同じ消防機関です。消防署は常備の消防機関であるのに対し、消防団は、平素は生業を持っている住民が、火災・風水害・震災時に消防団員となり消防活動を行う非常備の消防機関です。

二足のわらじ？

本来の仕事や学業・家事などをしながら、消防団員として活動をしています。ですから、朝の通勤電車で隣に座ったサラリーマンや、コンビニエンスストアのレジのお姉さん、商店街の魚屋のおじさんも、もしかしたら消防団員かもしれません。

地域に根ざした活動

その地域に住んでいる住民であるからこそ、勤務している従業員であるからこそ、分かることがあります。混乱した災害の場においてはその貴重な情報が生かされます。消防団員は地域と消防との貴重なパイプ役を担っています。

入団資格は…

18才以上の健康な方であれば男女問わず入団することができます。お住まいの地域、勤務している事業所を管轄している消防署・消防団本部へお問い合わせください。

特別職の地方公務員

消防団員は公務員です。ただし、非常勤であるため特別職の地方公務員となります。災害活動においては公的な活動をする事から消防団員としてなすべきこと、守らなければならないことなどが条例、規則等で定められています。

特技を生かせる場

仕事上の資格が生かせる、それが特殊技能団員という制度です。医師や看護師の場合は「医療」、建設会社などでフォークリフトなどの重機を操作している場合は「重機操作」、など4区分あり、さまざまな場面で特技が発揮されています。

消防団の主な行事

1月 消防団初式

各消防団で表彰式を主体に行われます。

5月 水防訓練



梅雨を前に消防署隊と合同で水防工法などを訓練します。

5・6月 消防操法大会



各消防団でポンプ操法や救助技術を競います。

9月 総合防災訓練



都総合防災訓練や各地域で行う防災訓練に参加し、応急救護や、初期消火訓練の指導を行います。

9・10月 消防団点検



各区で行われ、消防団の災害活動技術及び士気の状態を地域の住民等に披露します。

12月 年末特別警戒



各消防団で繁華街や重点区域の警戒を行います。地域に密着した消防団の重要な活動です。

年間を通して



各町内会の防災訓練の補助や地域のイベントに協力しています。

大森地区の消防団

大森管内消防団の現況 H20.8.31現在

管内面積	18.07km ²	
可搬ポンプ	20台	
積載車	3台	
現員(女性)	272人(38人)	
分団内訳	団本部	9人(1人)
	第一分団	31人(2人)
	第二分団	34人(4人)
	第三分団	38人(6人)
	第四分団	28人(8人)
	第五分団	32人(5人)
	第六分団	32人(4人)
	第七分団	41人(5人)
第八分団	27人(3人)	



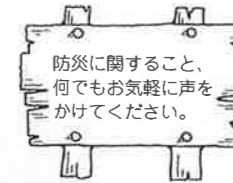
消防団の活動地域

大森地区には、第一分団から第八分団までの8つの消防団があります。その中で、第四分団と第八分団が新井宿管内で活動しています。第四分団の活動地域はおおむね、中央1~4丁目・大森西1・4丁目と山王3丁目の一部で、第八分団は山王1~4丁目になります。



第四分団 時任 勉分団長 (中央2丁目在住)

分団長を引き受けて6月で5年目にはいりました。わが第四分団は伝統のある分団で、先輩に負けないよう色々と頑張っています。第四分団は、団員28名中8名が若い女性で、とてもなごやかな分団です。



第八分団 杉原 豊樹分団長 (山王1丁目在住)

最近、若い人が多く入団され、楽しくそして厳しく活動しています。とても仲の良い分団で、時々、本格的にお茶会も開いています。特に昼間地元にいる主婦の方や、お勤めの方入団大歓迎です。



地域のために愛する家族やなかまのために

「消防団員募集」

問合せ先 大森消防署 消防団係 小沢
電話 3766-0119